

ほっとライン

加藤よし子議会通信

NO48

2008年9月30日

中札内村議会議員

加藤よし子

後援会会長 森 幹 次

連絡先 中札内村上札内109

収穫の秋・選挙の秋。

朝夕めっきり寒くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の収穫はほぼ平年作といわれていますが、燃料価格の高騰のあおりを受け、肥料・飼料価格が高騰しており、農家経営は厳しい状況です。

この夏は、農業者・漁業者など生産者のデモや集会が多く開かれました。国は食料自給率アップを推進しようとしています。これでは農業を続けることさえ危ぶまれる状況です。

山積する国政の課題の中、突然の首相の退陣、新首相による内閣改造、いよいよ総選挙が迫ってきたような状況です。ムードや、威勢のよい言葉に乗せられることなく、日本の農業と、地方自治を守るという意味を投票行動で示す大事な選挙となりますね。

芸術の秋ですね
皆さん何かしてますか？



感謝・感謝

8月31日に、後援会主催の野遊会を開催させていただきました。多くの皆さん(43人)の参加を頂き、パークゴルフの後、焼肉で交流しました。

3期目になり頼りにしていた先輩議員がいなく、さらに8人体制になって1年が経過しました。一つ一つの課題への判断、対応について一層責任の重さを感じています。皆さんの暖かいお気持ちに応えるために、今後もご意見をいただきながら更に頑張っまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

10月上旬の予定

- 1日 静内・中札内線道路現地調査
- 3日 南十勝議員研修会
- 7日 総務・産業常任委員会合同村内調査
- 9日 十勝町村議会議員研修会
- 14日 広報委員会

視察に行きました。

- 7月28日 豊頃町 議会運営について
- 8月11日 釧路市NPO法人「わたぼうしの家」 地域福祉について
- 8月12日 鶴居村 スポーツ合宿の現状
- 8月21日 遠軽町 広報委員会研修
- 8月22日 津別町 広報委員会研修

§ § § § 議 会 報 告 § § § §

9 月 定例議会が終わりました

9月定例議会は、9月11日から19日の会期で開催されました。

補正予算の審議ほか、平成18年度の決算審査が行われました。決算審査を今回試行として、本議会で（今までは、決算審査特別委員会を設置）審査しました。このことにより、議長が議事を取り仕切るため、実質6人（議会選出の監査委員 小田中議員は除く）での審査となりました。

教育委員の選任

西田教育長の辞任を受けて、新しい教育委員として上松丈夫氏を選出同意しました。

村長行政報告で陳謝

9月定例会のはじめに村長から6月以降の行政報告があり、その中で、次の4件について陳謝がありました。

- 1、水道メーター器の期限切れ26世帯の更新が遅れたこと。
- 2、簡易採血器具の不適切な使用があったこと。
- 3、鉄資材の盗難があったこと
- 4、敬老会と秋祭りの日程が重なったこと

また、6月27日に起きた、国営かんがい施設の札内川導水路の破損事故についての経過と対応について報告がありました。

補 正 予 算

福祉灯油を今年も実施します。

昨年に続き今年も福祉灯油を支給することになりました。対象世帯は、高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯にあって、村民税非課税世帯及び生活保護世帯に灯油200リットルを支給します。対象になる世帯の方は、ぜひ申請してください。→ 予算 460万8千円



障害者自立支援 就労対策を試験的に実施します

障害者自立支援の就労の場確保の取り組みとして、今年度試験的に、流木処理施設から発生するウッドチップを南札内の桜六花公園の環境整備に利用します。また、西札内牧場内の小河川の環境整備に向けて炭を使った浄化設備の設置などを行います。→ 予算 224万円

中札内交流の杜管理委託費今年度分

旧中札内高校を現在合宿施設・研修施設・資料館に改修していますが、北海道教育委員会から譲渡された後の管理と、来年度事業本格実施に向けた企画、営業活動などを指定管理者である(株)ユービックに委託料として支払います。

→ 予算 547万6千円

住民税の年金天引きをするためのシステム改修費

6月に議会で、住民税の年金からの天引き(特別徴収)が決まりましたが、そのためのコンピューターのシステム改修費が予算計上されました。→予算1,557万円

6月議会でこの制度は行政の都合だけで、住民の利益にならないとして反対しましたが、今回そのシステム改修に1500万円以上の費用がかかることが提案されました。私は、今回の提案に対しても反対しました。国の制度が変わったために多額の費用を負担することになる自治体として国に助成を強く求める必要があります。

平成19年度決算審査より

一般会計	
歳入	42億4566万8900円
歳出	41億5457万9080円
実質収支額	9108万9856円
自主財源比率	37.3%

42億4566万8900円

41億5457万9080円

9108万9856円

37.3%

(自主財源とは、村税約5億6千万や、使用料2億3千万などで、依存財源の多くは、地方交付税約15億、ほかに国・道支出金5億4千万など)

19年度決算を認定しました。



基金と、地方債残高

基金残高

約33億4778万円(村民一人当たり83万7千円)

地方債残高

約41億2367万円(村民一人当たり103万1千円)

村のお金はどんなことに使っている？

(各課に配置されている職員の人件費も含めます)

議会費	4463万6169円(全体の1.1%)	議員報酬2500万円など
総務費	7億5671万8186円(18.2%)	後期高齢者医療制度導入のシステム改修に3千万円以上など
民生費	3億7238万8579円(9.0%)	老人福祉5000万円、障害者福祉7000万円、児童福祉4100万など
農林業費	12億7601万2573円(30.7%)	国営かんがい排水事業負担金繰上げ償還6億5685万円、元気な畑作り補助金300万円など
商工観光費	9723万3837円(2.3%)	道の駅関連施設委託728万円、札内川園地改修工事853万円など
土木費	2億2284万9207円(5.4%)	公園管理委託947万円。道路維持補修・除排雪業務5649万円、道路改良工事5712万円など
教育費	3億9865万6269円(9.6%)	学校給食共同調理場経費6528万円、中学校耐震化工事3300万円など



加藤よし子の 一般質問（4件）

1、鳥獣被害対策について

農業被害が多くなっている、被害防止対策の確立を図るべき被害の実態は？

【質問】 野生鳥獣の被害が拡大傾向にある。現状の被害状況の調査と、防止対策の確立が必要。村としてどのような対策をしていくのか。

【村長答弁】 野生鳥獣の被害は、農作物の被害だけでなく、乳牛・鶏にも被害が出ている。箱ワナや、銃による捕獲を実施していますが、十分な効果が出ているとはいえない状況。今年度被害防止計画を策定し事前審査を受けており、事業が採択されれば、捕獲機材の導入助成などが受けられるため、計画的な整備に活用できるものと考えます。



2、新エネルギー導入促進について

新エネルギー導入に対する補助制度の創設を

【質問】 燃料高騰と、環境に対する意識の高まりから、全国各地で新エネルギー導入に対する補助制度が進められている。定住促進の看板にある中札内スタイルの補助制度の中に太陽光発電やペレットストーブなどの新エネルギー導入補助制度を入れるべきでは。また、今後建設する公共施設に省エネ設備を導入すべきと考える。

【村長答弁】 今後策定を予定している「新中札内エコプラン」の中で、公共施設の省エネ対応、太陽光発電、ペレットストーブなどの新エネルギーの普及促進に対する方向性を示す考えです。



3、開村記念日のあり方について

開村記念日は村の誕生日、お祝いの事業を考えては

【質問】 今年の開村記念日(9月1日)は、村の功労者表彰がなかったため、式典が行われなかった。しかし、開村記念日は、村民が村の歴史を振り返り、未来への発展を願う日として位置づけられるような事業を行うべきと考える。

【村長答弁】 今後も10年を節目として記念事業を実施していきたいと考えている。また、毎年の記念日には、広報で特集を組むことを考えたい。

4、小規模町村の自律について

村が生き残る道は

【質問】 国が検討している自治体のあり方では、自治体の規模による格差が明確になるうとしています。小規模町村は、財源、権限で厳しい状況を余儀なくされると予想されますが、村政運営の方向性についてお聞きします。

【村長答弁】 今後の政治的動向を踏まえて時代を生き抜くための確かな地域経営の将来像を描く必要を感じています。「小規模町村のあるべき姿」を研究する庁内研究会を発足し対応していきたい。